

## インフルエンザ脳炎について

病 名	病気の症状や対応について	難病の団体・HP
インフルエンザ 脳炎	<p>◇症状</p> <p>・インフルエンザをきっかけに起こる脳症のこと。ウイルスが脳に入り込むわけではないのに脳が腫れ、頭の中の圧力が高まって脳機能が低下し意識障害などを起こすもの。脳に直接ウイルスが入って炎症を起こすものは脳炎という。ライ症候群などいくつかの病型に分類され、幼児～小児に発症しやすく、死亡率、後遺症を残す確率ともに高い。インフルエンザ感染後初期に発症して急激に進行するため、意識障害、けいれん、異常行動などの症状があったら早期に医療機関を受診する必要がある。強い解熱作用のある解熱剤（ボルタレン、ポンタール、アスピリンなど）により脳症のリスクが高まることがわかっている。</p> <p>◇治療法</p> <p>インフルエンザ脳症に対する全般的な治療として、血管から輸液（水分・塩分・ブドウ糖などの補給など）を行います。血液の成分にアンバランスがあるときは、それを正常化するための薬剤を体内に入れます。たとえば血液が酸性になっているときはアルカリ剤を、ブドウ糖が減っているときはブドウ糖を注射します。DICの時は、異常な凝固を抑える薬剤を用いたり、減ってしまった赤血球や血小板を輸血により補ったりします。</p> <p>また脳の圧が高いときは、圧を下げるための減圧剤を使用します。けいれんが起きているときはそれを止める抗けいれん剤を使用します。患者さんの状態によっては、気管にチューブを入れて空気の通り道を確認し、人工呼吸器を使って呼吸を助けるようにします。</p> <p style="text-align: right;">（小さいのち：HPより）</p>	<p>小さいのち chiisanainochi.org/index.html</p>